

平成29年度農業経営発展支援セミナー

(人材の確保対策 (外国人技能実習制度の活用))

1. 目的

地域社会における深刻な高齢化・過疎化を背景とした農業労働力不足の対応策として、外国人技能実習制度を活用し、実際の農業生産現場に外国人技能実習生が2.2万人在留し、貴重な人材(労働力)の一端を担っており、今後もその必要性は増していくと考えられる。

一方で、外国人技能実習生に関わる、さまざまなトラブルが一部に発生していることから、外国人技能実習制度の趣旨である「人づくり」と、現実的な労働力確保という二面性をしっかりと直視し、制度の正しい理解と、適正な運用に心がける必要がある。

そこで、今年11月に施行される新たな外国人技能実習制度の内容を理解し、克服すべき課題を解消して、人材(労働力)を育成確保する制度として活用することで、農業経営体の強化に繋げる。

2. 日時 平成29年9月27日(水) 13:30~16:30

3. 会場 広島市文化交流会館
広島市中区加古町3-3
082-243-8881 (代表)

4. 内容 ①新しい外国人技能実習制度の仕組みと外国人技能実習生受入れの留意点
外国人技能実習実習生職業紹介事業 広益協同組合(広島市安佐北区口田)
事務局 山本直樹 氏

②外国人技能実習生受入れのための労務規程等の整備
(社会保険労務士法人) たんばぽ会 (広島市安佐南区東原)
所長 山東春美 氏

③(経営者発表) 外国人技能実習生の受入れのメリット・デメリット
世羅菜園(株)(世羅郡世羅町重永)
専務取締役 兒玉剛司 氏

④質疑応答

5. 受講対象者 認定農業者、農業法人、関係者 等(40人:定員になり次第〆切り)

6. 受講申込み 所定の申込用紙により、申込期日までに、FAX・メールで申し込む

7. 申込期日 平成29年9月20日(水) 必着

8. 主 催 一般社団法人広島県農業会議